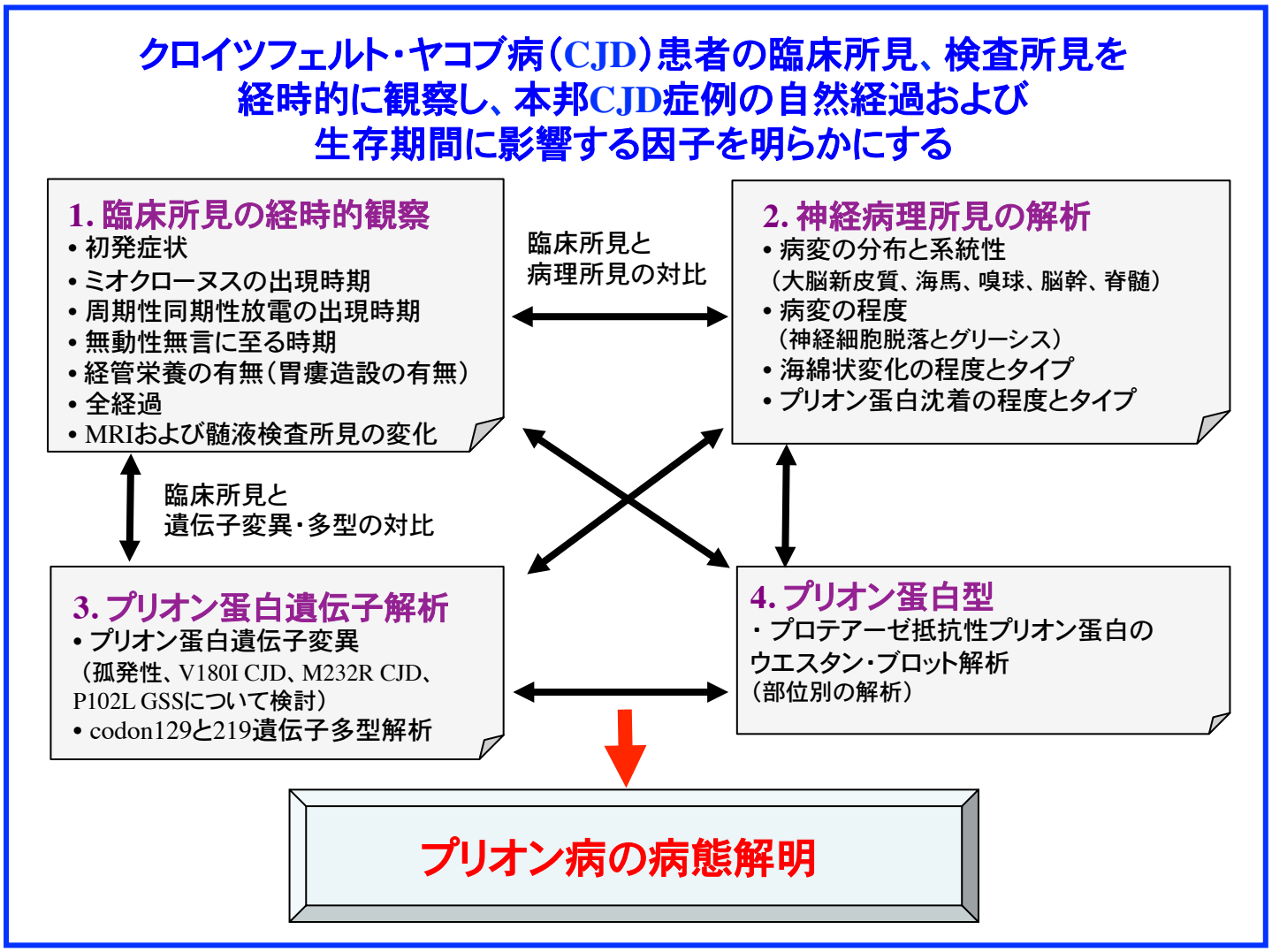
クロイツフェルト・ヤコブ病の臨床経過に関する検討

研究分担者： 愛知医科大学 加齢医科学研究所　岩崎 靖



解　説

1. CJD患者の臨床症状と画像所見、検査所見を経時的に観察し、発症から死亡までの自然経過の推移を検討する。
2. 長期生存例が多い本邦CJD症例の、生存期間に影響する因子を検討する。
3. CJD診断基準の策定やガイドラインの作成、および有効性が期待される薬剤の治療効果検討の際の基礎データとしての利用が期待される。